

垂井町 地域子ども教室新聞



☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

垂井町教育委員会生涯学習課 発行

各地区まちづくり協議会で「地域子ども教室」が行われました!!

1 各地域の特色ある体験教室

- ◇ 垂井：たるいっ子チャレンジ教室
- ◇ 東：光の子チャレンジ教室
- ◇ 宮代：千之子ども教室
- ◇ 表佐：ちさと子ども教室
- ◇ 栗原：栗っ子お楽しみ教室
- ◇ 府中：集 学 舎
- ◇ 岩手：菁 莪 塾

2 令和6年度前期(4～8月)活動実績

- ☆ 教 室 数 : 34教室
- ☆ 回 数 : 43回
- ☆ 参加児童数 : 882名
- ☆ 地域ボランティア等参加人数 : 528名

※ 以下は、各地域子ども教室の様子です。

<垂井地区：たるいっこチャレンジ教室>

8月1日(木)に、子どもたちは、紙飛行機づくりとダンボール迷路に挑戦しました。紙飛行機を設計図どおりに作製するのに悪戦苦闘し、どうしても分



(迷路に挑戦)

ない時は、VYSの中学生に教えてもらいながら完成し、すぐ飛ぶ飛行機を喜んで飛ばしていました。その後、青少年健全育成推進員の役員の方たちとVYSの中学生たちが2時間



かけて作製したダンボール迷路に、何度も挑戦していました。

ダンボール迷路
紙飛行機づくり

<宮代地区：千之子ども教室>

千之お花教室

千之お花教室は、中川いづみさんを講師に招いて、20年続いています。7月13日(土)には、國枝千賀子さん、西川京子さん、日比みゆきさんも参加され、9時30分から10時30分からの2回に分けて行われました。6年生には、1年生の時から参加している子どもが多くいました。子どもたちは、「自分で自由に生けられて嬉しい。」「いろいろな花が知れて嬉しい。」と言っていました。一緒に参加している保護者の方も「親子で一緒にできることは有り難く、楽しいです。」と言っておられました。



< 中川さん >



< 親子で >



< 子ども29名、保護者12名参加 >

<表佐地区：ちさと子ども教室>

今年も、ゲンジボタルの幼虫の放流の教室が、「ハリヨ・ホタルを育てる会」と「地域子ども教室実行委員会」のみなさんのご協力のもとで行われました。天気が安定せずとも寒い日でしたが、12人の子どもたちが参加してくれました。

ホタルのえさであるカワニナがたくさん入った水槽の中から、「手が冷たい～!」「見つけるのむづかしい～」と言いながらも、一生懸命ホタルの幼虫を見つけ出して、ハリヨ池周辺の小川に放流しました。



< 幼虫はどこだ? > < 見つけた幼虫 > < 6月に羽化します >

ホタルの幼虫の放流

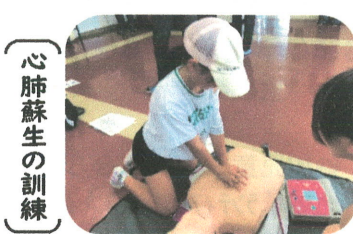
<栗原地区：栗っ子お楽しみ教室>

8月11日（日）に、合原小の子どもたちは、自主防災と青少年健全育成推進員のみなさんと一緒に、不破東消防署員の方に教えていただきながら、消火器を使った消火訓練を行いました。そして、実際に人形を使って、AEDを操作したり、心肺蘇生の仕方の訓練を受けたりしました。また、子ども祭りでは、パトカーとミニパトバイクに乗って、記念撮影をし、お菓子をプレゼントされました。

子どもたちからは、「心肺蘇生は、簡単でなく体力もいって大変だった。」「AED だけやれば助かると思っていたけど、そうではないことが分かった。」「パトカーやミニパトバイクに乗れて良かった。」という感想が聞けました。



水消火器の使
い方の訓練



心肺蘇生の訓練

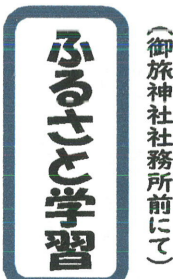


<パトカーとミニパトバイクに乗って記念撮影>



消防訓練と子ども祭り

<府中地区：集学舎>



ふるさと学習

（御旅神社事務所前にて）



<高木正弘さんの現地説明>



<小竹一成さんの現地説明>

府中小学校の6年生の総合的な学習の時間とタイアップして、6月13日（木）に「ふるさと学習」の一環として、美濃国府と活る会の会員のみなさんによって、「美濃国府跡の現地見学と美濃国府の歴史を学ぶ」というテーマで授業が行われました。

6年生の児童たちは、実に素晴らしい姿で熱心に授業を受けていました。そして、授業の振り返りでは、「自分たちのふるさとの良さを、何とかして地域に広めたい。」と話していました。

<岩手地区：菁莪塾>

ホタル祭りの6月8日（土）に、平成21年から続いている「ホタルの勉強会」を片岡兼男さん（ホタルのおじさん）を招いて行いました。

ホタルについて日本だけでなく世界のホタルにわたるまで、いろいろな説明を聞いた後、ホタルのように光る化学実験を行いました。



<ホタルのように光る実験>



<プレゼンによるホタルの説明>

ホタルの勉強会

<東地区：光の子チャレンジ教室>

卒業をひかえた6年生のために、卒業式で着けられるように「コサージュ作りの教室」が、6年生の教室で、林 由岐子さん、河村 智子さん、服部 博美さん（フラワールレンジサークルの皆さん）を講師に招いて行われました。担任の先生からは、「児童が自分で作ったコサージュを着けて卒業式に臨めるのは本当に有り難く、卒業に向けてさらにレベルアップできる良い機会になっています。」というお話しが聞けました。



<開式のことば> 「卒業式が楽しみ。」と子どもたちは言っていました。 <できました！>

コサージュ作り

今回の新聞には、年度末に行われ、今まで掲載することができていなかった教室も紹介させていただきました。ちさと子ども教室の「ホタルの幼虫の放流」も光の子チャレンジ教室の「コサージュ作り」も、とても大切に続けられている教室です。